

## 支援機器相談シート

- ① 座位をとるのに学校で「らくちゃん」を使用している。上手に座ることができるため、商品の購入を考えたが販売終了している。似たようなものはないか。  
「らくちゃん」は座位保持ではないので、できれば座位保持装置として認められている物がよい。
- ② 令和5年4月の痙攣時の右大腿骨骨折などの影響で脚長差がある。足の装具などは作成していないが、今後、作成した方がよいか。痙攣は今も多くあるので、装具を付けると危ないか。  
(歩行器は使用しています) ※R6.7に再度骨折で入院している
- ③ 148.5cm、32.7kgあります。元気なときはよく動くため、ベッドを使用するのは難しく、布団を敷いて生活している。移動は、床から抱き上げ、玄関で車椅子に乗せる状況で、2年前にマッスルスーツを試したが、使い勝手や値段を考えると購入には至らなかった。抱き方、持ち上げ方のコツなどがあれば教えてほしい。
- ④ 地震のときなどの避難の際に、車椅子が使用できないときは、どうすればよいか。おんぶひもなど、実際に何kgまでの子どもが上手に背負えるのかなど聞きたい。

### 児童情報

- ・教育課程C(自立活動を主とした教育課程)で学習する重複障害児。
- ・日常生活では緊張が強いわけではなく、どちらかというと低緊張。
- ・あぐら座位は支援が必要であるが、割座は一人でも可。
- ・車椅子への移乗は、男性職員でも負担が大きい。

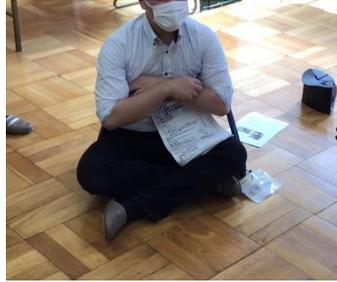
相談内容



① 座位保持装置でよいものはあるか

→座位保持装置ではないが立ち上がり補助手すりであるスタンバーカンタ(a、b)

a スタンバーカンタ b スタンバーカンタを使用した際の座位姿勢



② 足の装具作成について

→主治医と相談して、目的に合わせて慎重に作っていくことが大切である。

- ・脚長差を合わせたい
- ・歩行練習のため

③ 抱き方、持ち上げ方について

- ・リフト (移動式)
- ・昇降する椅子

床からの持ち上げの場合は、高すぎない椅子があると膝や腰にかかる負担が軽減される。

→PATATTO(パタット)シリーズ(c、d、e)などがおすすめである。

c PATATTO 正座

d PATATTO250+

e PATATTO 正座使用の様子



相談結果

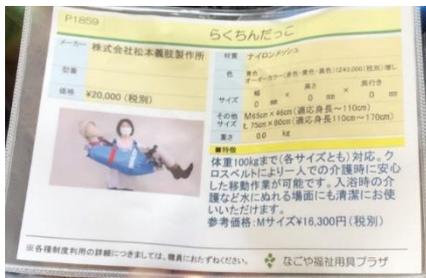
④ 車椅子が使えないときの移動について

布団やマットごと移動できればよいが、持ちにくい場合やシーツなどが破れる可能性があるため「らくちんだっこ」(f、g、h)などを使うのがおすすめである。

f らくちんだっこ

g らくちんだっこ使用の様子

h 股を通すタイプもある



引用元

写真 a 「スタンバーカンタ」 <https://frailshop.com/items/5ee06ecf34ef0136503fa027>